(第6回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年2月17日				
契約業者名	鹿島・五洋・森特定建設工事共同企業体				
契約業者の住所	福岡市博多区博多駅前三丁目12番10号				
工事の名称	令和4年度馬毛島滑走路等新設工事(その1)				
工事場所	鹿児島県西之表市馬毛島				
工事種別	空港等土木工事				
工事概要	別紙のとおり				
工期(自)	令和4年10月5日				
工期(至)	令和9年3月17日				
変更前の契約金額	51,361,200,000 円 (税込み)				
変更金額	37,378,000,000 円 (税込み)				
変更後の契約金額	88,739,200,000 円 (税込み)				
変更理由	別紙のとおり				

工事内容	+0+42 = 12.15 = 1.54	ו צבו	业 目	
工種名称	規格・形状寸法	単位	数量	摘 要
/ 作此始守新設				
準備工				
準備工【指定部分】				
表土除去	t=30cm	m2	215,000	
 伐開除根	t=10cm	m2 m2	1,185,000 221,668	
以刑你似		1112	221,000	
準備工				
表土除去	t=30cm	m2	15,515	
	t=10cm	m2	16,348	
土工				
土土 掘削工				
掘削【指定部分】	火山灰質粘性土	m3	138,128	
	岩塊玉石		1,415,121	
	砂岩優勢層 軟岩 I		1,743,316	
	砂岩優勢層 軟岩Ⅱ	ms	2,106,230	完 城
掘削	 火山灰質粘性土	m3	983.229	(想定数量) (想定数量)
JAM 1 2 2	岩塊玉石	m3	49,697	
	砂岩優勢層 軟岩 I	m3	525,865	
	砂岩優勢層 軟岩Ⅱ	m3	745,603	発破
│ │ 盛土工				
盛工工 盛土【指定部分】		m3	2,144,647	
盛土		m3		(想定数量)
舗装工				(想定数量)
│ 路床整正 │ (主滑走路)				
路床整正		m2		
(主滑走路オーバーラン)				
路床整正		m2		
(主滑走路側誘導路)				
路床整正 (ウォームアップエプロン)		m2	\geq	原契約のとおり
路床整正		m2		
(主滑走路ショルダー)				
路床整正		m2		
(場周道路・保安道路・取付道路)				
路床整正		m2		
コンクリート舗装				
(主滑走路)				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		
(主滑走路オーバーラン) 舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		
(主滑走路側誘導路)				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工) (ウォームアップエプロン)		m2		
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		

	<u>-</u>			
舗装目地				
(主滑走路)				
縱方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縱方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	スリップバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	ダミ一目地	m		
横方向収縮目地(3)	タイバー付目地	m		
(主滑走路オーバーラン)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	現場目地	m		
横方向収縮目地(3)	ダミ一目地	m		
(主滑走路側誘導路)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		原契約のとおり
横方向収縮目地(1)	スリップバー付目地	m		M13443 10 200 3
横方向収縮目地(2)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(3)	現場目地	m		
横方向収縮目地(4)	ダミー目地	m		
膨張目地		m		
(ウォームアップエプロン)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	現場目地	m		
横方向収縮目地(3)	ダミー目地	m		
		""		
アスファルト舗装				
(主滑走路ショルダー)				
アスファルト舗装	表層 t=5.0cm	m2		
(場周道路・保安道路・取付道路)	汉 /届 t=0.06Ⅲ	1112		
アスファルト舗装	表層 t=5.0cm	m2		
ノスンアルド研表	汉 /信 ℓ=0.00///	1112		
路盤				
(主滑走路)				
\				
ト 屋 路 般	クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2		
上層路盤下層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2		
下層路盤	クラッシャーラン C−40 t=15cm	m2		
下層路盤 プライムコート				
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン)	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート (主滑走路側誘導路)	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート (主滑走路側誘導路) 上層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート (主滑走路側誘導路) 上層路盤 下層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート (主滑走路側誘導路) 上層路盤 下層路盤 アライムコート	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下層路盤 プライムコート (主滑走路側誘導路) 上層路盤 下層路盤 アライムコート (ウォームアップエプロン)	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上滑 と	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下骨路盤 プライムコート (主滑走路盤 上層路盤 下層路盤 下層路盤 プライムコート (ウォームアップエプロン) 上層路盤 下層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路オーバーラン) 上層路盤 下ライム側 (主滑層路盤 アラ大路盤 上層路上下層子イムアップェプロン) 上層路盤 でウォー層路盤 アプライムコート	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路出ートーラン) 上層路盤 下プラ走路盤 下プラ走路盤 上下プラナー (主滑層路型コート ウォー層路盤 フライムアッ盤 上下アプロン) 上層路とコート できると できると できると できると できると できると にまる。 できると できると できると できると できると できると できると できると	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路な出ートーラン) 上層路盤 下プラナンと 主滑層路型 ート (主滑層路盤 コートーリー でカナーの 上層の でカナーの に主滑を でカインアの は上下アプロン に対して では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下骨路盤 プライムコート (主滑走路路型 ート (主) 上下プラ大路路盤 一トでは、 一大路路盤 ートでは、 一大路路盤 ートでは、 一大路路盤 ートでは、 一大のでは、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路路出ートーラン) 上層路盤出ート (主滑 医路盤 一ト (主滑 医路盤 ート の (主滑 医路盤 ート の (ウォート の (ウォート の (ウォート の (ウォート の (大) の (大	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		直却約のとなり
下プラを (主) 上下プラと (主) 上下プラと (主) 上下プラと (主) 上下プラと (主) 上下プラと (主) 上下プラン (大) 上下プラン (大) 上下プラン (大) 上下プラン (大) にいる	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		原契約のとおり
下プラを を を を を を を を を を を を を を	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		原契約のとおり
下プライン アプライン (主) 上下プラン 主) 上下プラナを路盤コーバーラン) 主) 上下プラナを路盤コース で) 大学をでする。 主) 上下プラーをでする。 で) カナーアのでは、 大学をでする。 で) カナーアのでは、 で) カナーアのでは、 大学をできる。 で) カナーアのでは、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 で) は、 大学をできる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		
下層路盤 プライムコート (主滑走路路盤コートの) 上層所の 主滑を開発をはまた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2		原契約のとおり(想定数量)
下プラナス では、 下プラナス では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm 粒度調整砕石 M-30 t=10cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2	863	
下プラナ (ウェイン) という (ウェイ	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2	863	
下プライン (主) と (本)	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm 粒度調整砕石 M-30 t=10cm クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m	863	(想定数量)
下プライン (主) 大学 (1) 本学 (2) (1) を (2) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7)	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m	863 原契約	(想定数量)
下プラート (1) によって、 (1) によって	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m	863 原契約 896	(想定数量)
下プライン (主) 大学 (本) には、 (は) には、	クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm PK-3 クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm 粒度調整砕石 M-30 t=10cm クラッシャーラン C-40 t=15cm クラッシャーラン C-40 t=15cm かっつっシャーラン C-40 t=15cm かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっつっしゃ かっしゃ かっしゃ かっしゃ かっしゃ かっしゃ かっしゃ かっしゃ か	m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m2 m	863 原契約6 896 668 319	(想定数量)

強化プラスチック複合管(2) 強化プラスチック複合管(3) 強化プラスチック複合管(4) 強化プラスチック複合管(5)	2種 <i>ф</i> 1500 2種 <i>ф</i> 1650	m m m	300	原契約のとおり
側溝工 U型側溝(1) U型側溝(2) U型側溝(3) 素掘側溝 皿型側溝	プレキャスト U300×300 プレキャスト U300×500 プレキャスト U500×600 B=5.0m	m m m m m	235 59	原契約のとおり
雨水人孔 マンホール(1) マンホール(2) マンホール(3) マンホール(5) マンホール(6) マンホール(7) マンホール(8) マンホール(9) 雨水桝(1) 雨水桝(2) 雨水桝(3) 雨水桝(4)	2号	個個個個個個個個個個個個個個	原契約 10 1	のとおり 原契約のとおり 原契約のとおり
雨水桝(5) 雨水桝(6) 標識工 標識工 マーキング	300 × 300 × 1200 700 × 700 × 1500	個個	8,239	(想定数量)
マーキング 航空灯火電気設備工 航空灯火電気設備工 航空灯火電気設備工		m2 式	8,239	(想定数量)
環境整備工 植生工 植生工		式	1	(想定数量)
法面工 切土工 切土法面		m2	4,299	(想定数量)
盛土工 盛土法面(1) 盛土法面(2)	ジオテキスタイル	m2 m2	3,650 17,852	
法面排水工 法面排水工 法尻排水 小段排水 縦排水 雨水桝 溜桝 ふとん 素掘り側溝	U300 × 300 U300 × 300 500 × 500 × 500	mmm個個所m	1,070 1,375 34 3 14 1 2	(想定数量)
地下排水工 地下排水工【指定部分】 地下排水工(1) 地下排水工(2)	幹線φ300 支線φ150	m m	1,466 1,082	
地下排水工 地下排水工(1)	幹線 ∅ 300	m	102	

地下排水工(2)	支線 ∅ 150	m	170	
補強盛土工 補強盛土工 補強盛土工		m2	原契約	(想定数量) のとおり
補強土壁工 補補強土壁工 補強土壁		m2	原契約	(想定数量) のとおり
護岸工 土工【指定部分】 床掘 埋戻		m3 m3	12,789 1,350	
±Ι				(想定数量)
埋戻		m3	1,541	
本体工【指定部分】 コンクリート打設 目地材	18-8-20 t=1cm	m m2	977 622	
本体工 コンクリート打設 目地材	18-8-20 t=1cm	m m2	44 30	(想定数量)
水叩き工 コンクリート舗装	t=20cm	m2	原契約	(想定数量) のとおり
撤去工 コンクリート構造物撤去		式		
仮設工 交通誘導員		式		(想定数量)
ヤード整備【指定部分】		式		原契約のとおり
濁水処理		式		(想定数量)
火薬庫		式		(想定数量)
表土及び残土仮置場		式		(想定数量)
オカヤドカリ対策エ		式		(想定数量)

契約変更理由

- 1. 工程精査により工期延伸、指定部分の対象工種・数量を変更した。
- 2. 建設機械等の拘束費について、費用が確定した。
- 3. 資機材について、費用が確定した。
- 4. 舗装機械について、費用計上方法が確定した。
- 5. 技術提案の履行内容について、費用が確定した。
- 6. 建設機械等について、運搬回数が確定した。
- 7. 砕石製造について、費用が確定した。
- 8. シンカーブロックの設置について、数量が確定した。
- 9. 護岸工及び補強土壁工の地盤改良における濁水処理について、数量が確定した。
- 10. 地下排水工施工箇所における工事用道路について、数量が確定した。
- 11. 護岸工及び補強土壁工における工事用道路及び施工ヤードについて、数量が確定した。
- 12. 仮設調整池の掘削における土質区分について、数量が確定した。
- 13. 岳之腰の掘削における土質区分について、数量が確定した。
- 14. 護岸工の掘削における土質区分について、数量が確定した。
- 15. 一部島外調達を要した砕石(C-40)について、数量が確定した。
- 16. 砕石ヤードへの工事用道路について、数量が確定した。

- 17. 濁水対策(団粒化剤・植生シート)について、数量が確定した。
- 18. 仮設桟橋 B におけるスロープの設置について、数量が確定した。
- 19. 表土及び残土仮置場における用地造成・管理について、費用が確定した。
- 20. 補強土壁工の盛土材におけるふるい分け・岩破砕について、数量が確定した。
- 21. 深掘①における土質区分について、数量が確定した。
- 22. 法面部の緑化について、植生工法が確定した。
- 23. 深掘①における滑り対策について、数量が確定した。